

ちょっとした工夫が家計を助ける

# 医療費節約の術



緊急時以外は

## 診療時間内に受診せよ！

夜間や休日など診療時間外の受診には時間外料金が加算されます。医療現場の負担にもなりかねないので、緊急時以外はなるべく避けましょう。

時間外の割増料金 ※6歳以上の場合

時間帯	初診	再診
<b>早朝・夜間</b> 平日：概ね6～8時／18～22時 土曜：概ね6～8時・正午以降	850円 (2,300円)	650円 (1,800円)
<b>休日</b> 日祝 12/29～1/3	2,500円	1,900円
<b>深夜</b> 22時～翌6時	4,800円	4,200円

※（ ）は救急病院等の金額です。

※診療時間内でも次の時間は+500円の割増料金がかかることがあります。

すぐに病院を受診すべきか迷ったときは…

救急安心センター事業  
**#7119**  
に相談を！



## 子どもの医療費

に気をつけよ！

自治体の助成により窓口での支払いがなくても、子どもの医療費はタダではありません。かかった医療費の7～8割を健保組合が負担しています。

休日や夜間に迷ったときは…

小児救急電話相談  
**#8000**  
に相談を！

## かかりつけ医

をもつべし！

気軽に相談できるかかりつけ医を持ちましょう。紹介状なしでいきなり大病院を受診すると特別料金※がかかります。

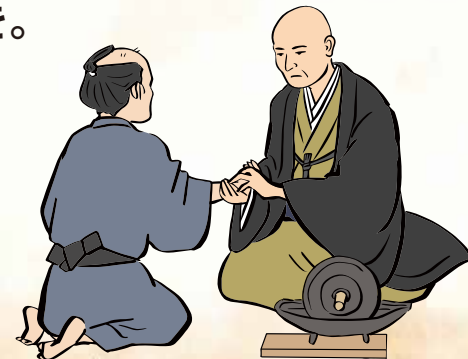
※内科：初診の場合7,000円以上  
再診の場合3,000円以上

歯科：初診の場合5,000円以上  
再診の場合1,900円以上

## はしご受診

は避けよ！

同じ症状でいくつもの病院を受診するはしご受診は、医療費だけでなく体にも負担が。治療に不安があったら、まずはかかりつけ医に相談を。



## リフィル処方せんを活用せよ！

症状が安定し、長期にわたって薬に変更がないときは、一枚で最大3回まで薬を受け取れるリフィル処方せんが便利。薬をもらうためだけの受診を減らし、通院の手間や医療費を減らすことができます。医師に相談してみましょう。



お薬は正しく飲みましょう

自己判断で服薬をやめると、治療期間が延びて医療費がかさんでしまいかねません。また、もし飲み忘れなどで残薬がある場合には、薬剤師に相談すれば量を調整してもらえて余分な薬代を節約できます。

## いちばんの節約は定期的な`健診受診、！

日々を楽しく過ごすためには健康なからだが欠かせません。定期的に健診を受けて生活習慣を改善するなど、からだのメンテナンスをこまめに行うことが医療費の節約にもつながります。ご家族の方にもぜひ健診の受診をおすすめてください。



## けんぽお知らせ板